



大会で、活用した都市基盤、先端技術、危機管理体制などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能な都市になっている

アジア・アジアパラ競技大会で拡大する交流人口を引き継ぐため、競技施設や交通ネットワークをはじめとする都市基盤について、リニア中央新幹線の開業を見据えるとともに、SDGsの理念を踏まえ、社会課題に対応した整備を進め、大会終了後もまちづくりやにぎわいの拠点になります。

また、安心・安全な大会運営を通じて危機管理体制が充実するなど、ハード・ソフトの両面から都市機能が強化され、大会の運営基盤やノウハウが蓄積されます。

さらに、大会で活用された先端技術が産業や市民生活に広く普及され、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化など、脱炭素で循環型のまちづくりが促進され、強い産業力に加え、環境にも配慮されたまちが実現しています。

こうした取り組みが、大会モデルとして未来へ引き継がれるとともに、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能なまちとなっています。

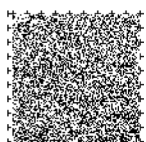
■ 取り組みの方向性

- 1 大会モデルの構築
- 2 大会後の活用を見据えた施設整備
- 3 利便性や防災性、危機管理体制を備えた都市機能の強化
- 4 イノベーションの創出、先端技術の活用・普及

リニア中央新幹線の開業

リニア中央新幹線により、東京から名古屋への移動時間が現在の約 100 分から約 40 分へ大幅に短縮されます。その後、東京から大阪までの全線開業が見込まれており、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が約 1 時間で結ばれ、7,000 万人規模の世界最大の人口を有する巨大交流圏を形成します。これにより、東京・大阪それぞれに人口、経済活動が吸い取られるストロー現象に陥る懸念がある一方、交流機会の増加に伴う新たなイノベーションの創出、時間と場所からの解放による働き方や暮らし方の多様化、海外からの人や投資の呼び込み、交通ネットワークの多重性・代替性強化や東京に集中する人口及び企業の中核機能等の分散による災害リスク低減などの効果が期待されています。

リニア中央新幹線の開業に向けた都心まちづくりに関するホームページはこちら



■ 取り組みの方向性

1 大会モデルの構築

質素・簡素・機能的・合理的な大会運営を行うことにより、国際総合スポーツ大会における名古屋モデルを構築し、大会の運営基盤やノウハウを本市に蓄積します。また、グリーンインフラの考え方を踏まえた取り組みを進めるとともに、先端技術の進展などの時代の潮流を見据え、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの推進など、環境にやさしい脱炭素で循環型のまちづくりを進めます。

○主な取り組み

大会モデルの構築（アジア・アジアパラ競技大会の推進、アジア・アジアパラ競技大会に向けた機運醸成等に関する本市の取り組み）

【総務局はじめ関係局】

質素・簡素・機能的・合理的な大会運営をめざし、今後の先進技術の進展など、時代の潮流を見据えながら、開催都市としての運営準備を進めます。



第19回杭州アジア競技大会開会式
©OCA

水素エネルギーの利活用の推進【環境局】

利用段階で二酸化炭素を排出しない水素エネルギーの利用拡大を図るため、燃料電池自動車・バスの普及啓発や導入促進、水素ステーションの整備促進などを実施します。



燃料電池自動車の展示

○名古屋市総合計画2028における主な関連施策

施策 30	身近な自然や農にふれあえる環境をつくります
施策 32	脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを進めます
施策 33	循環型都市づくりを進めます
施策 40	スポーツを ^い 活かしたまちづくりを進めます

選手団宿泊施設としてのクルーズ船の活用検討

選手村の施設整備を行わず、ホテル等の既存施設を活用して選手団の宿泊を確保することとしています。

その中で、相当規模の宿泊拠点となる既存施設としてのクルーズ船の活用について、検討、調整を進めています。

◆検討内容：クルーズ船をホテルシップとし、選手団の宿泊施設として活用

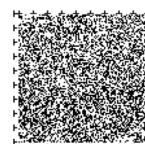
◆クルーズ船の規模等：3,000人程度が収容可能な船舶を想定

◆停泊場所等 ・停泊場所：名古屋港金城ふ頭 ・停泊期間：20日（想定）

（※）詳細については、現在、検討・調整中



クルーズ船イメージ



2 大会後の活用を見据えた施設整備

大会で活用する施設について、大会後も継続して大規模競技大会やイベント等の誘致・開催に対応できるようにするとともに、アスリートだけでなく、すべての市民が安心・安全・快適に利用でき、にぎわいの拠点などとなるように、その後の活用を見据えた環境整備を進めるとともに、効率的な運営に取り組みます。

○主な取り組み

瑞穂公園の整備【スポーツ市民局】

アジア・アジアパラ競技大会の開催やその後の活用を見据え、本市のスポーツ振興の拠点としての価値を高めるとともに、市民の交流・憩いの場としての機能向上を図るため、両大会のメイン会場となる陸上競技場をはじめ、瑞穂公園全体の整備を推進します。



名古屋市瑞穂公園陸上競技場
©2021 株式会社瑞穂LOOP-PFI
※画像はイメージです。

アジア・アジアパラ競技大会会場施設の整備 【スポーツ市民局】

アジア・アジアパラ競技大会の会場施設として仮決定されている施設について、大会の円滑な開催及び大会後の活用を見据え、すべての人が安心・安全・快適に利用できるような施設とするため、リニューアル改修等を実施します。



名古屋市東山公園テニスセンター
※画像はイメージです。

国際展示場の運営・整備【観光文化交流局】

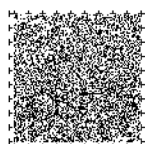
MICEを推進するため、その基幹インフラとなる国際展示場を管理、運営し、競技会場として利用される第1展示館のリニューアルを契機としたさらなる多目的利用を促進するとともに、拡大し多様化するMICE活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために必要な整備を実施します。



名古屋市国際展示場

○名古屋市総合計画2028における主な関連施策

施策 39	観光・MICEの推進と情報発信により交流を促進します
施策 40	スポーツを活かしたまちづくりを進めます



大会で、充実した交通ネットワークなどに支えられた快適な大会運営や災害が発生した時に被害を最小限に抑えるための安心・安全な運営体制の構築をめざします。

また、大会を契機に拡大する交流人口に対応するとともに、リニア中央新幹線の開業も見据えながら、安心・安全で快適な都市空間の形成に向けて、高い利便性や防災性、充実した危機管理体制を備えた都市機能の強化を進めます。

○主な取り組み

名古屋駅ターミナル機能の強化【住宅都市局】

大会期間中の名古屋の玄関口となる名古屋駅について、リニア中央新幹線の開業により形成される巨大交流圏の中心拠点にふさわしい交通機能と空間機能を兼ね備えたスーパーターミナルの実現のため、駅へのアクセス性の向上や交通結節機能の強化、ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成を実施します。



名古屋駅

帰宅困難者対策等の推進【防災危機管理局・住宅都市局】

大規模な地震が発生した場合における滞在者等の安全の確保と都市機能の継続を図るため、都市再生安全確保計画及びエリア防災計画に基づき、官民連携による一体的・計画的なソフト・ハード両面の対策を実施するとともに、大雨等の影響による滞留者対策の強化を実施します。



帰宅困難者を想定した防災訓練

危機管理・国民保護に関する対応力向上【防災危機管理局】

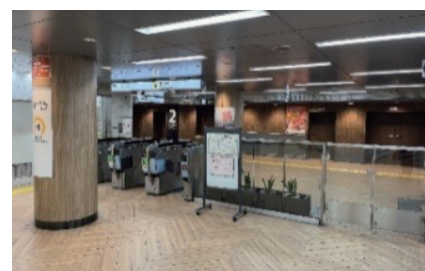
大会の運営時にも必要となる危機管理・国民保護に関する対応力向上のため、調査、検討、各種マニュアルの整備、研修及び訓練を実施するとともに、国民保護措置について市民への広報・啓発の充実を図ります。



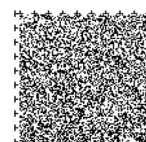
名古屋市災害対策本部運営訓練

地下鉄駅のリニューアル【交通局】

開業後50年以上経過した地下鉄駅について、明るく清潔感のある快適・便利な駅空間とするため、壁・床・天井・照明などのリニューアルを実施するとともに、主要駅は名古屋の顔としてふさわしい駅とするため、個性化を実施します。



地下鉄駅構内



○名古屋市総合計画2028における主な関連施策

施策 19	防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
施策 26	持続可能な公共交通の実現と、ウォーカブルなまちづくりを進めます
施策 34	世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます

4 イノベーションの創出、先端技術の活用・普及

大会を、国内外へ先端技術を発信する場として活用するとともに、大会を契機として、域内経済のさらなる活性化や持続的な成長につなげていけるよう、先進技術の活用による社会実証を推進するほか、産業の垣根にとらわれないイノベーションの創出を促進します。

また、産業交流の場づくりを進めるとともに、さらなる産業集積を図るため、本社機能などの戦略的な企業誘致を進めます。

○主な取り組み

新たな路面公共交通システムSRTの導入推進【住宅都市局】

アジア・アジアパラ競技大会やリニア中央新幹線の開業による交流人口の増加を見据え、都心部における回遊性の向上やにぎわいの拡大を図るため、新たな路面公共交通システムSRTを導入します。



SRTのイメージ

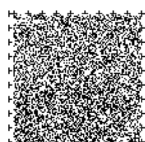
イノベーション創出・創業等支援

(イノベーションを起こす環境の整備、イノベーション人材の育成、社会実証・オープンイノベーションの促進、グローバル化支援)
【経済局】

アジア・アジアパラ競技大会を、交流増加の機会と捉え、産学官の連携を図りながら企業間の交流・共創を促すイノベーション拠点を運営するとともに、小中高生に対する起業家精神の醸成からスタートアップのグローバル展開まで体系的に支援するほか、社会実証支援を実施するなど、イノベーションや新事業の創出を促進します。



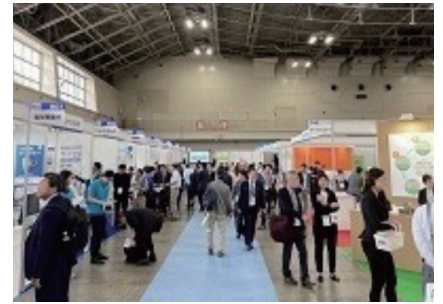
NAGOYA EVOLVES



産業交流の場づくりと戦略的な企業誘致の推進

(産業交流の場づくり、イノベーションの基盤となる企業等の集積促進)【経済局】

大会の競技会場として利用される中小企業振興会館などの施設を整備・運営することにより、中小企業の産業交流を促進するとともに、戦略的な企業誘致によりイノベーションの基盤となる企業等の集積促進を図ります。



中小企業振興会館（吹上ホール）

○名古屋市総合計画2028における主な関連施策

施策 26	持続可能な公共交通の実現と、ウォーカブルなまちづくりを進めます
施策 41	イノベーションの創出を促進するとともに、産業交流を促進します

○名古屋市総合計画2028におけるまちの姿の実現に向けた主な成果指標

成果指標	現状値	目標値(2028年度)
第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会(愛知・名古屋開催)の市民認知度	48.1%	100%
イノベーション創出件数	528件	1,180件(5か年)

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE (ナゴヤイノベーターズガレージ)

中部圏のイノベーションハブとして、各種プログラムへの参加を通じた新たな人的ネットワーク、コミュニティの場を提供します。

また、企業の新規事業開発者、スタートアップ、起業家、起業家予備軍の方、などの「たまり場」としての共創空間を活用し、ビジネスアイデアの創出からビジネスプランのブラッシュアップまで、メンターサポートを受けて早期スケールアップを図ることができます。

産官学が連携し、スタートアップを育て、中部圏企業の変容を遂げるイノベーションエコシステムを形成していきます。

ナゴヤイノベーターズ
ガレージに関する
ホームページはこちら

